

木曜日
1

さいだん れいはい 祭壇と礼拝

きょうのみことば

出 27:1~8

それらの^{ぼう かん}棒は環を
とお^と通されなければなら
ない。祭壇^{さいだん}がかつがれる
とき、棒は祭壇^{さいだん}の^{りょうがわ}両側
にある。祭壇^{さいだん}は中をからに
して板で作らなければ
ならない。山であなたに
示^{しめ}されたところに
したがって、彼らは
これを作らなければ
ならない。(7~8)

神様、多くの問題^{もんだい}でいっぱいなこの世で生きている間、神様がいつも私^{わたし}とともにおられ
るという事実^{じじつ}をかたくなに信じて、いつ、どこでも、どんな問題^{もんだい}があっても、福音の中に持っ
て入ることができるように、信仰^{しんこう}をあたえてください。イエスさまのお名前^{いの}によってお祈り
します。アーメン

定刻^{ていこく}祈りの点検^{てんけん}：昼 12 時 □—教会のために祈り^{いの}しましょう。夜 9 時—UTC のために祈り^{いの}しましょう

イスラエル^{いたみ}の民は奴隷生活^{どれいせいかつ}をしていたエジプトの地から出て、
紅海^{こうかい}を渡^{わた}りました。しかし、神様^{やくそく}が約束してくださったカナンの
地に入るほど、信仰^{しんこう}が十分に準備^{しゅんび}されていませんでした。それで、
荒野^{あら}で 40 年間、過ごすようになりました。

荒野^{あら}は、木や草はほとんどなく、土と石ばかりがいっぱいあると
ころです。そのようなところで暮^くらしたら、大変^{たいへん}でむずかしいこ
とが多くあるのはしかたがありません。しかし、イスラエル^{いたみ}の民
は、荒野生活^{あらのせいかつ}を無事^{ぶじ}に終えて、カナンの地に入りました。その秘訣^{ひけつ}
はなんでしょうか。それは祭壇^{さいだん}です。

神様は、イスラエル^{いたみ}の民が大変^{たいへん}な荒野生活^{あらのせいかつ}の中で、契約^{けいやく}をのがさ
ないようにするために、祭壇^{さいだん}で血^ちのいけにえをささげるようにさ
せられました。

レムナントのみんな、勉強^{べんきょう}するのがむずかしいですか。友だち
となかよくしたいのに、思うようにできませんか。私^{わたし}たちの祭壇^{さいだん}
である礼拝^{らいはい}を回復^{かいふく}しましょう。問題^{もんだい}と事件^{じげん}の中で悩まずに、礼拝^{らいはい}
を通して神様を見上げて、神様の計画^{けいかく}を発見^{はっけん}する恵み^{めぐみ}を味わって
みましょう。

ただ、礼拝^{らいはい}はかならず教会だけでささげなければならないのでし
ょうか。イスラエル^{いたみ}の民が荒野^{あら}のあちこちを通いながら、血^ちのい
けにえをささげたように、私^{わたし}たちは家・学校・塾^{じゅく}など、どこで
でも礼拝^{らいはい}をささげることができます。だから、今日からすべての
問題^{もんだい}を解決^{かいけつ}されたキリスト・イエスを礼拝^{らいはい}を通して力強くにぎっ
てみましょう。

れいてき きりつ そな
霊的な規律^{れいてき きりつ}を備えよう！

定刻^{ていこく}礼拝^{らいはい}に成功^{せいこう}した日にだけシールをはろう。



わたしはだれ？

ハングル文字をさがそう

旧約時代に〇〇は、人々のかわりに神様の前にいけにえをささげ、のろいをなくす役割を
しました。イエス様は、十字架でこの役割をしてくださいました。1ペテロ 2:9を見ると、
神様は私たちに王である〇〇だと言われています。レムナントである私は〇〇です。
〇の中に入るのはなにでしょう。右下に答えがあります。



に色をぬると、〇〇の韓国語（ハングル文字）が出てきますよ。

金曜日
2

わたし さいし
私は祭司です！

イスラエルの民は罪をおかせば、傷がない羊を連れて、祭司の
ところに行きました。祭司は罪をおかした人に、羊の頭に手を
のせなさいと言って、その人がおかした罪を羊にゆずりわたし
ました。その次に、刃物で羊を殺して、血を流したあと、羊を祭壇
で火で焼きました。

祭司は、罪をおかした人が罪ののろいからぬけ出せるように助け
てあげる人なのです。それでは、今でも祭司を訪ねて行って、羊
をいけにえとしてささげるのでしょうか。
もし、イエス様がこの世の中に来られなかったとすれば、そうす
べきだったでしょう。しかし、イエス様が小羊になって、私た
ちのすべての罪のかわりをして十字架で釘づけられ死なれて、サ
タンを踏み砕いて三日後によみがえられたので、イエス様をクリ
ストと信じるすべての人は、罪ののろいから完全にぬけ出すよう
になりました。イエス・リストを信じる信仰によって、神様の子
どもになったのです。

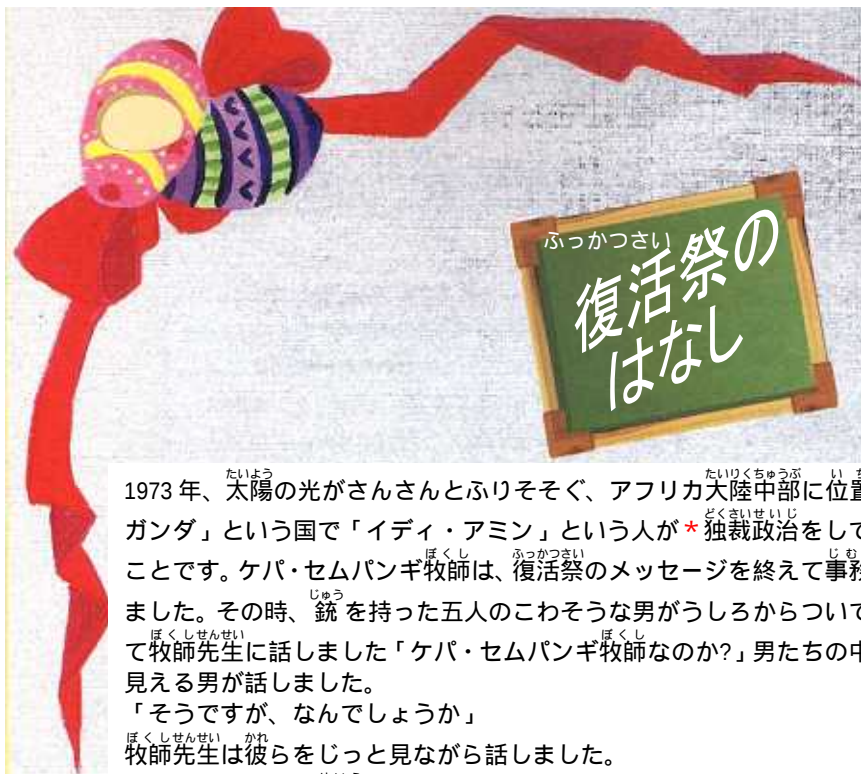
神様はレムナントのみなさんが、祭司の役割をすることを望んで
おられます（1ペテロ 2:9）。どのようにするのでしょうか。とて
もやさしいです。イエス・キリストを知らない人々に「イエス様
を信じれば、すべての問題から完全に解決されますよ！」と知ら
せるだけで良いのです。そのことを伝道と言います。

今日一日、祭司の役割を忠実にする自信はありますか。ないで
すか。心配しないでください。神様が新しい力をぱっとくださる
からです。その力で今日の伝道に勝利しましょう。

私を罪ののろいから救い出してくださった恵みに感謝します。イエス様が小羊になって、
すべての罪の値をかわりに支払ってくださった事実をかく信じて祈りながら、他の人に
この福音を伝える祭司の役割をはたすことができるように、助けてください。イエスさまの
お名前によってお祈りします。アーメン

✳️定刻祈りの点検：昼 12 時 □ — 教会のために祈りましょう。夜 9 時 — RUTC のために祈りましょう

左の答え「祭司」をぬると「」が出るよ



1973年、太陽の光がさんさんとふりそそぐ、アフリカ大陸中部に位置した「ウガンダ」という国で「イディ・アミン」という人が★独裁政治をしていた時のことです。ケパ・セムパンギ牧師は、復活祭のメッセージを終えて事務室に戻りました。その時、銃を持った五人のこわそうな男がうしろからついてきて牧師先生に話しました「ケパ・セムパンギ牧師なのか？」男たちの中の親分に見える男が話しました。

「そうですが、なんでしょうか」

牧師先生は彼らをじっと見ながら話しました。

「おまえは、なぜ政府の悪口を言うのか！」

知ったところ、彼らは政府に反対する人々を探して殺す仕事をする秘密警察でした。

「私は神様のみことばを伝えただけです。神様が喜ばれることを神様がきらわれることを言っただけです。私はあなた方が聞きたくないからといって、み



ことばを伝えないわけにはいきません」

牧師先生の返事に、秘密警察の親分は銃口を牧師先生にねらいながら話しました。

「政府に対しては、どんな悪い話もしてはならない。これを破るときは、おまえのように死ぬようになる」

牧師先生は、男をまっすぐに見ながら話しました。

「今日はイエス様が復活された日です。私は死はおそろしくありません。ただ死ぬ前にあなたの方のために祈りたいので、1分だけ私に時間をくれますか」

男はじっとしていました。

牧師先生は胸に手を合わせて目をとじました。

「神様、主をあかしできるように恵みをくださってありがとうございます。この人々は、自分が犯している大きい罪を知りません。彼らを許してください。主が復活されたこの日に私を天国に呼んでくださることに感謝をささげ、イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

牧師先生は祈りを終えて目を開きました。男は牧師先生に向けていた銃をおろしながら言いました。

「私たちの無礼をお許してください」

男は部下を連れて静かにその場を離れていきました。

ケパ・セムパンギ牧師は、それからのち、このように告白しました。

「復活の信仰はおそれをなくします。永遠のいのちを信じるなら、銃もおそろしくありません。だれも、この希望から私たちを引き離すことはできません」

★独裁：特定の個人、団体、階級、党派などが、ひとつの分野ですべての権力を占めて、すべてのことを独断で処理すること



◆定刻祈りの点検：

昼 12 時 □

—教会のために祈りましょう。

夜 9 時 □

—RUTCのために祈りましょう